

船舶事故等調査報告書

平成23年5月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011那第7号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成22年10月17日 08時20分ごろ	
発生場所	鹿児島県和泊町和泊港 和泊港導灯（前灯）から真方位093°500m付近 （概位 北緯27°23.9′ 東経128°39.9′）	
事故等調査の経過	平成23年1月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 <sup>りゅうざん</sup> 隆山丸、498トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 140725、鹿児島荷役海陸運輸株式会社</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、三級海技士（航海）</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 本船 左舷船尾外板小凹損 岸壁 小欠損</p>	
事故等の経過	本船は、船長ほか5人が乗り組み、空船で、左舷船首索1本、左舷船尾索1本のみで岸壁に係留中、右舷方から風を受け、船尾が岸壁側に振られ、平成22年10月17日08時20分ごろ、左舷船尾外板が岸壁に衝突した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北東、風力 4、視界 良好 海象：波高 約1.5m	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、和泊港において係留中、船長が、係留索（斜索）を増しどりするなどの風を考慮した係留措置を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、和泊港において係留中、船長が風を考慮した係留措置を適切に行わなかったため、風の影響を受け、左舷船尾部が岸壁に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	